

<第5学年 日本語評価基準>

単元名	ねらい	評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本語の響きやリズムの美しさを味わおう<1>俳句 短歌①	俳句や短歌を読み、何度も繰り返し朗読することを通して、ことばの響きやリズムの美しさを味わう。	ことばの響きやリズムの美しさを味わいながら、俳句を工夫して音読することができる。	俳句に描かれた情景や心情を想像することができる。	繰り返し朗読することを通して、日本語の響きやリズムの美しさを味わおうとしている。
日本語の響きやリズムの美しさを味わおう<2>古文①	古文を読み、何度も繰り返し朗読することを通して、ことばの響きやリズムの美しさを味わう。	ことばの響きやリズムの美しさを味わいながら、古文を工夫して音読することができる。	古文に描かれた情景や心情を想像することができる。	知っていることばを探し、すすんで意味を考えようとしている。
相手や場面に応じたことばづかいを身につけよう①	相手や場面に応じたことばづかいがあることを理解し、よりよいことばづかいを身に付けようとする意欲をもつ。	相手や場面に応じたことばづかいがあることを理解している。	よりよいことばづかいを身に付けようとしている。	相手や場面に応じたことばづかいがあることに気付いている。
日本語の響きやリズムの美しさを味わおう<3>漢詩①	漢詩を読み、何度も繰り返し朗読することを通して、ことばの響きやリズムの美しさを味わう。	ことばの響きやリズムの美しさを味わいながら、漢詩を工夫して音読することができる。	漢詩に描かれた情景や心情を想像し、伝えようとしている。	繰り返し朗読することを通して、日本語の響きやリズムの美しさを味わおうとしている。
新聞記事を読んで考えよう②	新聞を読んで自分の考えをまとめ、すすんで意見交流をする。	SDGsについて理解し、新聞記事から関連するものを見付けようとしている。	SDGsについて知り、身の回りの問題を見付けようとしている。	SDGsについて興味をもち、すすんで意見交流しようとしている。
生き方を考える<1>①	論語について学び、自分の生活を振り返ろうとする気持ちをもつ。	論語を読んで自分の生活とむすびつけて物事を考えることができる。	自分の生活や経験とつなげて考えたことや感じたことを伝えようとしている。	すすんで自分の生活を振り返ろうとしている。

<p>「演劇」で考えてみよう<1> ②</p>	<p>グループで協力して、故事成語の成り立ちを演劇に表現してみよう。</p>	<p>劇や台詞や動きを工夫して考えている。</p>	<p>故事成語の成り立ちを役割分担しながら演劇で表現しようとしている。</p>	<p>友達と協力して演劇作りをしようとしている。</p>
<p>生き方を考える<2>①</p>	<p>論語について学び、自分の生活を振り返ろう。</p>	<p>論語を読んで自分の生活とむすびつけて物事を考えることができる。</p>	<p>自分の生活や経験とつなげて考えたことや感じたことを伝えようとしている。</p>	<p>すすんで自分の生活を振り返ろうとしている。</p>
<p>日本の伝統・文化にふれよう<1>③</p>	<p>地域に伝わる伝統・文化にはどのようなものがあるか、家族や地域の人から聞いたり、実際に体験したりする。</p>	<p>地域には、様々な伝統・文化があり、多くの人によって受け継がれてきていることを知り、日本の伝統文化理への理解を深めようとしている。</p>	<p>地域の伝統文化について調べたり体験したりすることを伝えることができる。</p>	<p>日本の伝統文化のよさや美しさを味わうことができる。</p>
<p>一冊の本から ビブリオバトル ②</p>	<p>自分のお気に入りの本を紹介することを通して、自分の思いや考えを伝えるための工夫を考える。</p>	<p>本を読んだり、紹介したりすることを通して、思いを伝えるための工夫をすることができる。</p>	<p>本を読んだり、紹介したりすることを通して、本について語り合う楽しさを味わうことができる。</p>	<p>本を読んだり、紹介したりすることを通して、人にはさまざまな感じ方があることを知ろうとしている。</p>
<p>日本語の響きやリズムの美しさを味わおう<4>詩①</p>	<p>詩を読み、音読したり暗唱したりすることを通して、ことばの響きやリズムの美しさを味わう。</p>	<p>ことばの響きやリズムの美しさを味わいながら、詩を工夫して音読することができる。</p>	<p>詩に込められた心情を想像したり、感じたことを伝えようとしている。</p>	<p>繰り返し朗読することを通して、日本語の響きやリズムの美しさを味わおうとしている。</p>
<p>ことばって面白い①</p>	<p>「熟字訓」について考えたり、調べたりすることを通して、語彙を豊かにする。</p>	<p>日本には漢語が渡来する以前から日本固有のことばがあることを理解することができる。</p>	<p>「熟字訓」について考えたり、調べたりすることができる。</p>	<p>熟字訓をすすんで見つけようとし、ことばについて学ぶ意欲を高めている。</p>
<p>日本語の響きやリズムの美しさを味わおう<5>古文①</p>	<p>古文を読み、何度も繰り返し朗読することを通して、ことばの響きやリズムの美しさを味わう。</p>	<p>ことばの響きやリズムの美しさを味わいながら、古文を工夫して音読することができる。</p>	<p>古文に描かれた情景や心情を想像することができる。</p>	<p>繰り返し朗読することを通して、日本語の響きやリズムの美しさを味わおうとしている。</p>